

学生からのメッセージ

小学校教諭になる上で大学院へ進学するのは珍しいかもしれませんが、今後は教師の強みとして知識だけでなく研究力が必要だと考えた私は、その考えを後押ししてくれたこの大学院に進学しました。ここでは、学問とじっくり向き合うだけでなく、専門分野の垣根を超えて幅広い仲間と議論を交わし、視野を広げることができます。ぜひ、この地で有意義な時間を楽しんでください。

筑波大学では広範な研究分野の学生との交流が可能です。教育の現場で起きているさまざまな問題について、専攻とする教科や校種の異なる学生が集い、それぞれの立場からのアプローチを考え、意見を交換した経験は、非常に有意義であったと感じています。

筑波大学での学びの目的は「研究力のある教員になる」ことでした。多様なバックグラウンドを持つ仲間と共に楽しく、時には厳しく議論し、学びあう経験をたくさんしました。ここで身につけた能力は、教員人生を歩む上での宝になりました。(現職教員)

短期間のプログラム内容はとても重みがあって充実していました。国内外の第一線で活躍される先生方の授業、博士・修士の方々や長期研修教員や留学生とも議論ができるセミナー、理論と実践の往還から根本的な研究課題の見つめ直しなど、幅広くそして深く学ぶことが魅力です。(現職教員 ※1年制プログラム)

入試について

毎年10月に実施しています。
一部の領域では2月に2次募集を行うこともあります。
募集要項はすべてWeb公開です。

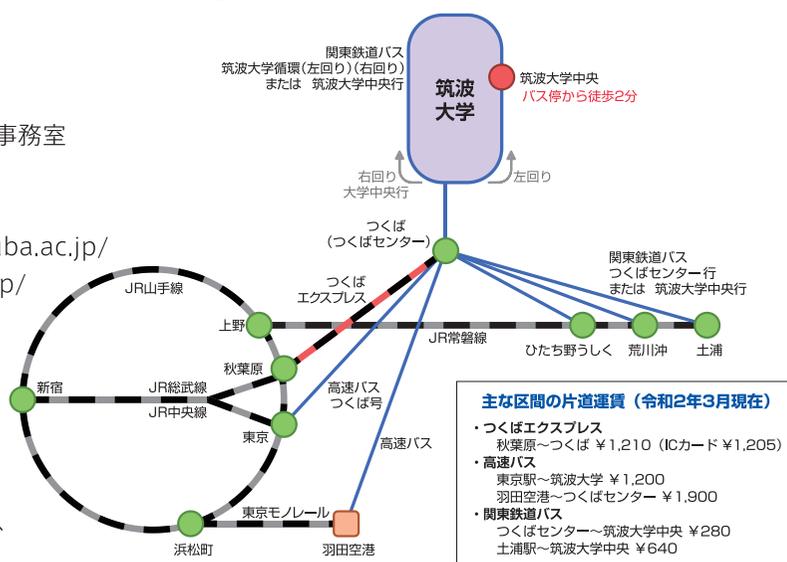
筑波大学大学院募集要項ウェブサイト
<https://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/>

	募集人員	試験科目 (配点)
一般入試	75名	共通科目 (100点) 専門科目 (200点) 口述試験 (100点)
社会人特別選抜	若干名	小論文 (100点) 口述試験 (200点)
現職教員1年制プログラム	5名	小論文 (100点) 口述試験 (200点)

問い合わせ

〒305-8572
茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学大学院
次世代学校教育創成サブプログラム事務局
Tel : 029-853-4604
Fax : 029-853-6695
Web : <http://www.human.tsukuba.ac.jp/education/edu-mp/nge-sp/>

交通案内



ガイドブックや受験案内
(過去問題集 CD) の送付をご希望の方は、
ウェブサイトをご覧ください。

次世代の学校教育を構想・実践する—



- 学校教育領域
 - スクールリーダーシップ開発分野
 - 英語教育分野
 - 芸術科教育分野
 - 保健体育教育分野
- 国語教育領域
- 社会科教育領域
- 数学教育領域
- 理科教育領域

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
教育学学位プログラム(博士前期課程)

次世代学校教育創成 サブプログラム



Subprogram in School Education for the Next Generation

University of Tsukuba

次世代の学校教育をリードする 高度専門職業人の育成

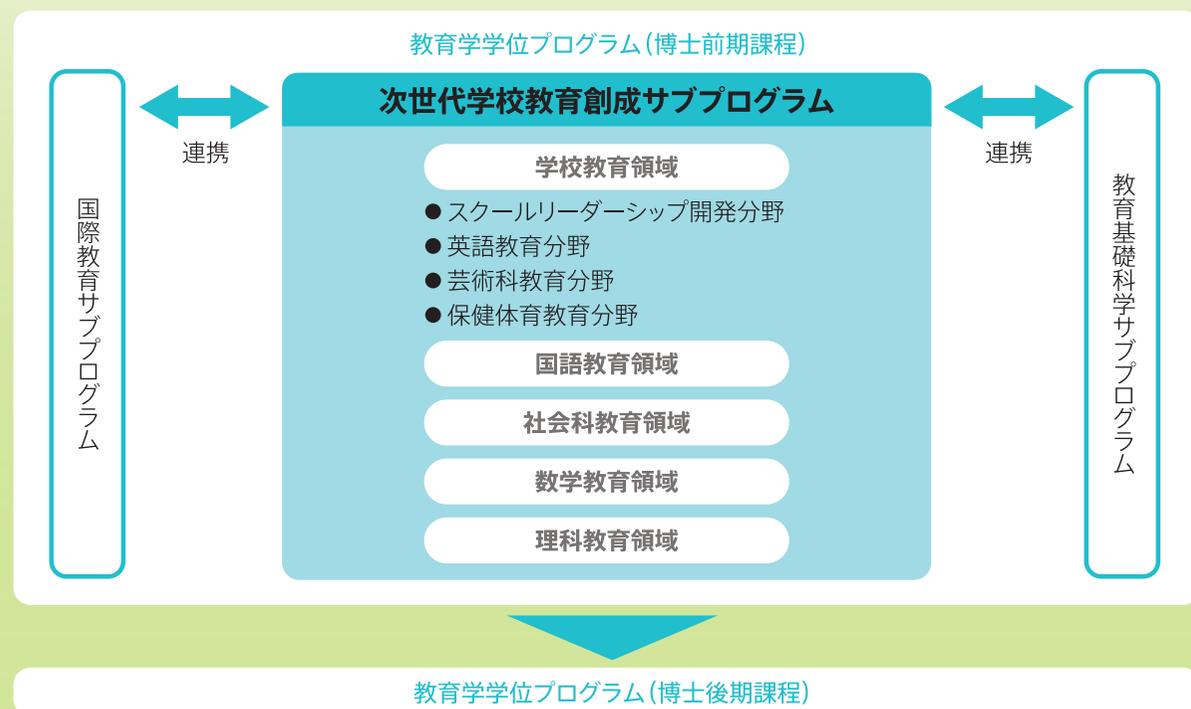
前身の教育研究科(スクールリーダーシップ開発専攻、教科教育専攻)は、高等師範学校の系譜をもち、日本の中等教育の中核を支えてきました。次世代学校教育創成サブプログラムは、この確かな実績を基礎としつつ、次世代の学校教育を見据えた研究・教育拠点として生まれ変わりました。

グローバル化・
ボーダーレス化した社会で
生じる新たな教育の課題に
対応する能力

「Society 5.0 に向けた
人材育成」のための
教育内容・方法を
開発する能力

海外で高く評価される
日本型教育システムを
積極的に世界へ
発信する能力

教育学の理論的内容から教科教育の専門的内容、 グローバルな教育課題まで、幅広い領域をカバー



多彩な授業科目

人間系、人文社会系、数理工学系、生命環境系、体育系、芸術系という6つの系から教員が関わり、各分野の最先端の動向をふまえた指導が行われています。STEAM 教育やカリキュラム・マネジメントなど、次世代の学校に欠かせない教育や経営の実践についても研究することができます。

※科目は一例

基礎科目	専門基礎科目	専門科目
<ul style="list-style-type: none"> ● 教育学理論研究 ● 次世代教育開発研究 ● Theory of International Education 	<ul style="list-style-type: none"> ● スクールリーダーシップ論 ● 学校心理学 ● 国際・多文化教育論 ● 国語科リテラシー教育論 ● 日本史特講 I ● 数学教育カリキュラム論 ● 物理学教育実験 ● 英語教育学習論 ● 芸術科教育特講 a ● 保健体育授業づくり論 	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代教育研究 I ~ III ● 国語教育学研究 I ~ III ● 地理教育学研究 I ~ III ● 歴史教育学研究 I ~ III ● 公民教育学研究 I ~ III ● 数学教育学研究 I ~ III ● 理科教育学研究 I ~ III ● 英語教育学研究 I ~ III ● 芸術科教育学研究 I ~ III ● 保健体育教育学研究 I ~ III

社会人の積極的な受入れ

社会人の再教育への要請が高まっています。本サブプログラムでは、在職のまま大学院の教育を受け、教育研究及び実践上の指導的役割を果たす能力を培うことができます。入学試験においても「社会人特別選抜」を実施しており、書類審査と小論文・口述試験のみで受験することができます。また、現職教員を対象とした、修了年限が1年間のプログラムも用意しています。

Q&A

Q 取得できる学位や資格を教えてください。

A 所定の単位を修め、修士論文に合格すると、修士(教育学)が授与されます。資格としては、小学校・中学校・高等学校教員の専修免許状(全教科)、養護教諭専修免許状、栄養教諭専修免許状、学校心理士申請資格などが取得できます。

Q 修了後の進路を教えてください。

A 前身の教育研究科と同様に、中・高等学校を中心とする教員をはじめ、官公庁や一般企業、博士後期課程進学などが期待されています。

Q 旧教育研究科のスクールリーダーシップ開発、英語教育、保健体育教育、芸術科教育の内容を学ぶことはできるのでしょうか。

A これらの専攻・コースは「学校教育領域」として再編されましたが、これまでと同様に学ぶことができます。

Q 教職大学院とはどう異なるのですか。

A 教育実践に関わる諸問題の解決を目指す点は同じですが、学術的なアプローチを重視する点、研究の成果を修士論文としてまとめる点で異なります。文学、社会学、数学などの教科専門の内容の研究もできます。